

第 26 回 日本健康教育学会学術大会

開催趣意書

日本健康教育学会は、健康教育に関する研究の充実・推進を図り、その成果を広く社会に還元することを目的とし、1991年6月に設立されました。本学会は健康教育・ヘルスプロモーションを主領域とし、疾病予防、健康増進の分野における本邦における主導的学会であります。その会員は地域保健・学校保健・産業保健の各分野で健康教育やヘルスプロモーションの研究と実践に携わる専門職で構成されています。研究と実践では栄養、運動、休養、飲酒、喫煙などの生活習慣の改善による生活習慣病予防をはじめ、ロコモティブシンドローム、メンタルヘルスなど幅広い疾病の予防及び健康増進を主たる目標としています。

第26回となる平成29年度の学術大会は早稲田大学という東京の中心地にて「社会的成果をもたらす健康づくり～個別から集団へ」をテーマとして開催いたします。これは近年、我が国では医療制度や介護保険制度といった社会保障制度の長期的な健全運営が重要な課題となっており、そのための重要な対策として健康づくりに対する社会的期待が高まっていることを反映したものです。また、企業などにおいても、新たな経営指針として「健康経営」や「健康文化」といったことが提唱されるようになってきました。このように今後のわが国における健康づくりにおいては、その対象を個人のみならず、地域全体や組織全体を対象とした活動が求められるようになります。そこで、次回の学術大会では、地域や職場などの全体の健康水準を改善するための健康づくり戦略とその評価に関する企画を数多く実施する予定です。

このようなチャレンジ的な学術大会に国内外の多分野多職種 of 研究者、実務家、行政関係者、企業関係者などが一堂に会して、新たな健康づくりに関する研究発表や健康づくりの実地現場での課題やその対策などについての情報交換などを行うことは、今後のわが国における「豊かで活力のある長寿社会づくり」にとって極めて意義深いことと思われまます。そこで、下記の内容で第26回日本健康教育学会学術大会を開催致します。

記

1. 大会名：第 26 回日本健康教育学会学術大会
2. メインテーマ：社会的成果をもたらす健康づくり～個別から集団へ
3. 主催：一般社団法人 日本健康教育学会
4. 共催：早稲田大学スポーツ科学学術院（予定）
5. 学会長：荒尾 孝（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）
6. 会期：国際セッション：2017年6月23日（金）
学術大会：6月24日（土）～6月25日（日）
7. 会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 大隈講堂（〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1）
8. 後援(予定)：厚生労働省、日本医師会、日本公衆衛生学会、日本学校保健学会、
日本栄養改善学会、日本運動疫学会、日本健康支援学会、日本生涯スポーツ学会
9. 参加者：ヘルスプロモーション・健康教育の研究者、行政関係者及び実務者等約 500 人